

1	表題(課題)名	クイックデッキ(先行床施工式フロア型システム足場)を使用した吊り足場	
2	工事(業務)名	R4・5紫竹跨線橋補修工事	
3	受注者名	川田建設株式会社	
4	工期	令和5年4月1日～令和6年3月27日	
5	担当技術者(立場)名	現場代理人	(いばらやま ゆうせい) 茨山 雄世
6	担当主任監督(調査)員	新潟維持出張所長	
7	課題区分名	⑥安全管理 (—————)	
8	工事(業務)概要	国道7号線紫竹跨線橋の鋼桁部塗装塗替工での足場について	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
	<p>国道7号・新潟バイパスの一部である紫竹跨線橋は、JR信越本線とJR白新線および市道と交差する陸橋である。供用開始から60年が経過しているため本工事で塗替塗装を行うことになった。</p> <p>本橋の塗替塗装工では主に4つの課題があった。①作業効率を高めるため足場内での移動を楽にすること。②吊り足場内でプラスト機材や材料を配置できること。③作業箇所が市道上空であることから作業中の小物の落下を100%防ぐこと。④古い塗装がPCBや鉛を含んでおり足場内で密封して外部に飛散しないようにすること。</p> <p>従来の吊り足場で密封された空間を作るには相応の労力が必要で、高所作業が増大し危険であることから、安全に組立が可能で、かつ①～④の課題を満足するクイックデッキ(先行床施工式フロア型システム足場)の採用を決めた。</p>		
10	【実施内容】		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p><従来の吊り足場></p>  <p>開口部が多く、移動は足場板方向のみ。 吊り材の数が多し。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><NISSO クイックデッキ></p>  <p>白シート敷設前。吊り材が少なく段差は無く前後左右に動くことができる。</p> </div> </div>		
11	【実施結果】		
	<p>クイックデッキは折り畳みユニット化されており、従来足場よりも安全かつ容易に足場組立が完了した。</p> <p>強度の高いチェーンを使用し、トラス状の骨組みの強度が大きいため吊り材が最大約2.5m間隔と大きくなり従来足場より本数が減少したことで足場内での移動の自由度が増した。また吊り材本数が少なくなったことでチェーン盛替後の塗装箇所数も減り、作業の手間が減った。</p> <p>従来足場で開口部を塞ぐのは非常に大きな労力が必要であるだけでなく、単管や足場板の重ねによりどうしても段差が生じるが、ユニット化されたクイックデッキは足場上に段差が無く、台車の使用が可能で材料移動が容易であった。</p> <p>クイックデッキと白シート敷設により足元が完全防護となり、側面は採光性かつ防音性に優れた防護パネルを使用。張出部天端の開口は合板と単管で屋根を作ることで密閉された完全防護の吊り足場が完成した。その結果、外部への塗装片の飛散や騒音を防ぐ事が出来ただけでなく、雨風による影響が少ない安定した環境での塗装作業が可能となった。</p>		

(様式—2)

【実施内容等】

